



## 小見山 道

(日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学分野)

### 『顎関節症の病態分類と診断基準(2019)』

#### <要旨>

日本顎関節学会では、顎関節症の病態分類を Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD) との整合性を配慮して行われました。そして「顎関節症の概念 2013」, 「顎関節症の病態分類 2013」, 「顎関節・咀嚼筋の疾患あるいは障害 2014」, 「顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害 2014」が公表されています。今回、さらに「顎関節症の診断基準 (2019)」が発表されました。今回はこの診断基準に沿って、病態(咀嚼筋痛障害, 関節痛障害, 復位性関節円板障害, 非復位性関節円板障害, 変形性顎関節症)の病歴と診察, 開口域等の計測, 顎関節雑音の触知, 咀嚼筋・顎関節の触診などについて説明いたします。

本講演が日常臨床で顎関節症患者を診察しておられる皆様に一助となれば幸いです。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の病態分類
- II 顎関節症の診断基準
- III 各病態の病歴と診察

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる
- ・医療面接を実施できる
- ・口腔外の診察を実施できる
- ・顎関節症の診断および病態診断ができる

#### <略歴>

1989年 日本大学松戸歯学部卒業  
1990年 日本大学松戸歯学部 総義歯補綴学講座  
1998年 日本大学 博士(歯学)  
2001年 日本大学助手(松戸歯学部・総合歯科診療学)  
2002年 日本大学松戸歯学部講師(松戸歯学部・総合歯科診療学)  
2003年~2005年 ベルギー王国ルーベンカトリック大学歯学部 客員教授  
2011年~ 日本大学松戸歯学部准教授(松戸歯学部・顎口腔機能治療学)  
2016年~ 日本大学松戸歯学部教授(松戸歯学部・顎口腔機能治療学)  
日本大学松戸歯学部附属病院 口・顔・頭の痛み外来 責任者

#### 代表的所属学会:

日本補綴歯科学会(指導医、代議員), 日本疼痛学会(代議員)  
日本顎関節学会(指導医、理事), 日本口腔顔面痛学会(指導医、常任理事)  
日本顎口腔機能学会(評議員), 日本歯科心身医学会(評議員)  
International Association of Dental Research (Past President for Neuroscience Group)  
Asian Academy of Craniomandibular Disorders (Councilor)  
International Association for the Study of Pain



## 五十嵐千浪

(鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)

### 『画像検査による顎関節症の鑑別』

#### <要旨>

「それ本当に顎関節症ですか？」という問いに対して、画像検査では、形態学的な評価・診断が主な目的となり、そのためには、正常解剖構造の解釈が重要です。

そこで顎関節部の画像検査法とその正常画像解剖について説明いたします。次に、顎関節症の病態分類とその臨床診断、画像診断を概説します。

講演の終盤では顎関節症と鑑別を要する疾患：外傷、炎症、腫瘍性病変、過形成、リウマチなどの画像を供覧いたします。参加者の皆様の、明日からの診療のお役に立てれば幸いと存じます。

#### <講演内容>

- I 顎関節部の解剖構造
- II 顎関節部の画像検査法と画像所見
- III 顎関節症の臨床診断と画像診断
- IV 顎関節症と鑑別診断を要する疾患の画像

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎口腔系の構造を説明できる
- ・顎関節症の診断および病態を説明できる
- ・顎関節症以外の顎関節疾患と鑑別できる

#### <略歴>

- 1993 年 鶴見大学歯学部歯学科卒業  
1993 年 鶴見大学歯学部附属病院 診療科助手 (歯科放射線)  
1996 年 鶴見大学歯学部助手 (歯科放射線学)  
2008 年 博士(歯学) 鶴見大学大学院歯学研究科  
2008 年 鶴見大学歯学部助教 (歯科放射線学)  
2008 年 鶴見大学歯学部講師 (歯科放射線学)  
2010 年 鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 講師  
2018 年 鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 准教授 現在に至る

一般社団法人日本顎関節学会 専門医・指導医・代議員  
NPO 法人日本歯科放射線学会 認定医・専門医・指導医・代議員  
東海大学医学付八王子病院 歯科口腔外科 顎関節外来 非常勤歯科医師



村岡 渡  
(川崎市立井田病院)

『顎関節症と鑑別が必要な疾患①(有痛疾患)』

<要旨>

「顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害(日本顎関節学会 2014 年)」において、あごや顔面に痛みを生じることで、顎関節症を呈する疾患は多い。それらの鑑別におけるポイントを「痛み」の視点から改めて整理した。急性/慢性、発作性/持続性、痛みの質(どのような痛みか)などに注視しながら、具体的な症例を通して、鑑別の重要性を提示したいと考えている。

<講演内容>

- I. 痛みからみた疾患分類
  1. 痛みの分類
  2. 疼痛構造化問診
  3. 痛みのRed Flag
- II. 顎関節症と鑑別が必要な有痛疾患
  1. リウマチ性多発筋痛症(PMR)、  
巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎(GCA)
  2. 虚血性心疾患
  3. 悪性疾患

<専門医カリキュラム>

- ・痛みの基本事項を説明できる。
- ・医療面接を実施できる。
- ・必要な血液検査を選択できる。血液検査の所見を説明できる。
- ・顎関節症以外の顎関節疾患と鑑別できる。
- ・顎関節症類似の臨床症状を呈する疾患と鑑別できる。

<略歴>

1997 年 鶴見大学歯学部卒業、慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科研修医  
1999 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科専修医、国立栃木病院歯科口腔外科医員  
2001 年 清水市立病院口腔外科医員  
2003 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科助手  
2006 年 日野市立病院歯科口腔外科主任医員  
2012 年 川崎市立井田病院歯科口腔外科医長  
2017 年~川崎市立井田病院歯科口腔外科部長  
慶應義塾大学医学部非常勤講師(歯科・口腔外科学)

【所属学会等】

日本顎関節学会 専門医・指導医、代議員、学術委員会委員、専門医等試験委員会委員  
日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医、理事  
日本口腔外科学会認定口腔外科専門医、日本運動器疼痛学会 代議員  
Diplomate of American Board of Orofacial Pain (米国口腔顔面痛学会認定医)  
Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders, Councilor



## 岡本俊宏

(東京女子医科大学 八千代医療センター 歯科口腔外科)

### 『顎関節症と鑑別が必要な疾患②(口腔外科疾患)』

#### <要旨>

顎関節症以外の顎関節疾患としては、先天異常・発育異常によるもの、顎関節脱臼や顎関節の骨折など外傷性によるもの、また腫瘍および腫瘍類似病変、顎関節強直症などが挙げられます。次に全身疾患に起因する顎関節疾患は関節リウマチ、乾癬性関節炎、痛風性関節炎など顎関節症と鑑別すべき疾患が多岐にわたり診断・治療に苦慮する症例も多くみられます。また超高齢社会を迎え、加齢による顎関節疾患また全身疾患に起因した症例の増加が予測されます。

今回、顎関節症と鑑別が必要な外科的な疾患、全身疾患に起因した顎関節疾患などの症例について供覧しその対応について解説します。

#### <講演内容>

- I. 全身疾患に起因しない顎関節症以外の顎関節疾患について
- II. 全身疾患に起因する顎関節症以外の顎関節疾患について
- III. 症例供覧
- IV. 鑑別診断のポイント

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症以外の顎関節疾患と鑑別できる
- ・顎関節症類似の臨床症状を呈する疾患と鑑別できる
- ・外科的療法の適応症を判断できる

#### <略歴>

1989年 明海大学 歯学部 卒業  
1992年 東京女子医科大学 歯科口腔外科学教室 助手  
1996年 東京医科歯科大学 歯学部 第一口腔外科 国内留学  
2005年 米国ワシントン大学 免疫部門 客員研究員  
米国セント・ジュード小児研究病院 博士研究員  
2007年 東京女子医科大学 歯科口腔外科学教室 講師  
2009年 東京女子医科大学 歯科口腔外科学教室 准教授  
2019年 東京女子医科大学 八千代医療センター 歯科口腔外科診療科長

日本顎関節学会 評議員 専門医・指導医  
日本口腔外科学会 専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 (歯科口腔外科)  
日本口腔インプラント学会 代議員 専門医・指導医  
日本顎顔面インプラント学会 指導医  
日本口腔科学会 認定医、指導医  
日本有病者歯科医療学会 認定医・指導医



## 玉置勝司

(神奈川歯科大学大学院歯学研究科  
顎咬合機能回復補綴医学分野)

### 『顎関節症と鑑別が必要な疾患③(精神疾患)』

#### <要旨>

今回の講演では、顎関節症と鑑別が必要な疾患で特に精神疾患を中心に解説する。

内容は、本学会の専門医研修カリキュラムに従って、Ⅰ．顎関節症の疾患概念、Ⅱ．顎関節症の診断、治療に必要な基本知識、Ⅲ．顎関節症の診断、治療における診察と検査、Ⅳ．顎関節症の診断、Ⅴ．顎関節症の治療および管理、Ⅵ．心身医学・精神医学的な対応である。また、心身医学的対応を考慮すべき疾患・症状の中に“咬合異常感”があるが、日本補綴歯科学会から提唱された“咬合違和感症候群(Occlusal discomfort syndrome: ODS)についても本講演の中で重要なポイントを解説できればと考えている。会員の皆様の歯科臨床において有益な情報の提供になれば幸甚である。

#### <講演内容>

- I. 顎関節症の疾患概念
- II. 顎関節症の診断、治療に必要な基本知識
- III. 顎関節症の診断、治療における診察と検査
- IV. 顎関節症の診断
- V. 顎関節症の治療および管理
- VI. 心身医学・精神医学的な対応

#### <専門医カリキュラム>

- ・心身医学・精神医学の基本
- ・顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害
- ・心身医学・精神医学的な対応はなぜ必要か
- ・心身医学・精神医学的な対応に向けての評価
- ・心身医学・精神医学的な対応

#### <略歴>

- 1982年 神奈川歯科大学歯学部卒業
- 1982年 歯科補綴学教室第3講座助手
- 1989年 神奈川歯科大学 歯科補綴学教室第3講座講師
- 1992年 歯学博士取得
- 2008年 神奈川歯科大学附属病院咬み合わせリエゾン診療科教授
- 2012年 神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座有床義歯補綴学分野教
- 2013年 神奈川歯科大学大学院歯学研究科顎咬合機能回復補綴医学講座教授
- 2017年 全身管理医歯学講座顎咬合機能回復補綴医学分野教授

日本有病者歯科医療学会 認定医・指導医